



1_スタート前の選手。緊張と興奮の雰囲気が出ている。2_スタート地点の役場を出発し、ゆっくりとしたペースでラリー区間へ向かう。3_4人の選手が走り抜ける。白熱したレースが繰り広げられた。4_選手へ川根茶をおもてなし。5_束の間の休息。山々が広がる景色に、選手たちの疲労も癒やされる。6_ゴール直後の選手。疲労の顔が伺えた。7_レース終了後のくじ引き大会。川根茶やゆず酒など、本町の特産品が当選し選手から歓声が起こる。

女子の部

優勝



とみぞわ 富澤 いずみさん
(茨城県)

移動区間では、桜や山の景色が綺麗で気持ちよく走れました。川根本町のレースは昨年もお出し、川根茶を買って飲んでみたらおいしくて大好きになりました。また旅行で川根本町に来たいです。

総合の部

優勝



まつお ゆう 松尾 遊さん
(神奈川県)

今回のコースは上りが多く、総距離もこれまでの大会よりも長かったのかかなり疲れました。でも、自転車で走行中に茶畑やエメラルド色の川など豊かな自然を満喫でき、とても気持ちよかったです。

GRAVEL RIDE RALLY

グラベル

ライド

ラリー



林道を走る
自転車レース開催

4月20日、町内で林道などの未舗装路をコースとした区間タイムを争う自転車レース「グラベルライドラリー」が開催され、県内外から約1000人が参加しました。

この大会が本町で開催されるのは昨年に続いて2回目。コースは「移動区間」と「ラリー区間」に分けられ、順位はラリー区間の走行タイムにより決まります。役場本庁舎をスタートし、文化会館や資料館やまびこを休憩地点にしながら、全行程約100キロのうち約30キロの未舗装の林道でタイムを競いました。

これまでの大会の中でも最長となるコースに、選手たちも疲労の表情を浮かべていましたが、休憩地点で川根茶や干し芋の差し入れに顔をほころばせ、気合を入れ直してレースに挑んでいきました。



どんなレース？

「グラベルライドラリー」は「持続可能性の追求」がテーマの、林道のコースでタイムを競う自転車レース。森林が織りなす豊かな自然を味わいながら、未舗装の林道を自転車で駆け抜ける。美しい日本の農村を将来に継承するための一つの試みとして、「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村で開催されている。